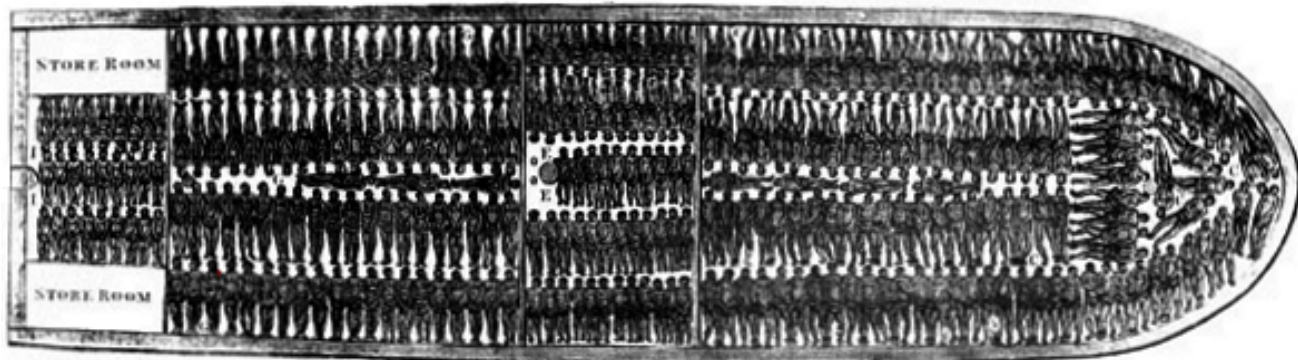


カトリック教会と奴隷貿易

—現代資本主義の興隆に関連して—

●2005年9月中旬サンパウロ発行 ●B6判 ●276頁(図版・写真多数掲載) ●税込定価1,890円



リヴァプールのブルックス号(320トン)の奴隷積載図

奴隷は「衣服を脱がされ、…胸に焼きごてで印をつけられたうえ、鎖で縛られて船倉(中甲板)に、積載能力の2倍前後、干魚のように詰め込まれた。…右舷の者は頭を左舷の方に、左舷の者はその逆向きに、匙のように並べられた。」(J.メイエール、1992)

カトリック教会は、奴隷貿易が始まった大航海時代に決定的な役割を果たしました。
現代につながっている決定的な役割を……

もし、カトリック教会がポルトガルとイスパニアの世界制覇を奨励せず、奴隷獲得を承認したり黙認したりしなかったら、現代資本主義の興隆も、その体制下に非人間的な窮状を強いられている何億という人々もいなかったのではないのでしょうか。

奴隷制度がなければ新大陸でのプランテーションはなく、綿花がなければ産業革命はなく、技術と市場の世界的拡大がなければ、被植民地下の世紀にわたる隷従も極貧も、…そして、一極覇権主義の雄叫びも、なかったと思えてなりません

この現代文明の光と影に、カトリック教会と奴隷貿易があったことを、次の諸点に展開します。

目次

推薦文 武者小路公秀(前国連大学副学長)

「カトリック教会と奴隷貿易」における文明史と救済史の交錯

第一部 カトリック教会は奴隷貿易に

深くかかわってきたのではないのか

- ・課題のありか
- ・奴隷制は「人道に対する犯罪」
- ・カトリック教会は奴隷貿易に断固一貫して反対して来たのか

第二部 新大陸の実態とカトリック教会の関与(一)

- ・先住民インディオ達の虐待と奴隷化
- ・教会の関与—教皇は聖俗両権能を行使—
- ・一層明白な教会の関与

第三部 新大陸の実態とカトリック教会の関与(二)

- ・教皇文書は奴隷貿易を禁止したか
- ・キリスト教化は奴隷化への方便ではなかったか—手段と目的の倒錯—

第四部 プランテーション生産と産業革命、

そして、それに続く先進諸国の隆盛(と途上諸国の衰退)

- ・産業革命は近代資本主義の起点

・「三角貿易」の主軸は奴隷貿易、そのまた主軸は「中間航路」

・奴隷労働が本源的蓄積の結果したと理解するウィリアム・テーゼ

第五部 奴隷貿易正当化の理論と実態

「人みな神の子」を語って止まらなかったキリスト教が何故…

- ・奴隷制を正当化する一般「理論」
- ・キリスト教世界に認められる正当化論

第六部 「見捨てられた大陸」の現状

- ・アフリカ諸国の独立と成果
- ・国際社会の二つの約束—マーケット・エコノミー—
- ・「市場経済」は(効率的でも)公正でもない

第七部 カトリック教会によるSSA諸国の現状認識と

奴隷貿易についての対応

- ・「愛の宗教」「平和の道具」としての自己規定
- ・「解放の神学」はラテン・アメリカだけのもの?
- ・アフリカ諸国の現状についての教会の認識
- ・謝罪を要するのは奴隷貿易についての「教会の罪」—「教会の責任」を再考するために—

アフリカにもこんなに大きな笑顔が・・・ 私たちは、是が非でも、これに応えねば・・・

コートジボアールはアビジャン郊外に広がるスラム・アボボを訪ねる。路地に入ったところ子供の大群に囲まれ、一瞬にして友達となったのは嬉しかったが、直後、「この子供達に何をしてやるのだ」と婦人達に詰め寄られる。

1997年10月17日(金)



ダカール港外ゴレ島の「奴隷の家」壁画には「アフリカが開発の遅れをとったのは奴隷制度のためである」と記されていた。

1997年10月4日(土)



戦争と言え紛争と言え、対立憎悪が絶えない今日、宗教の是非善悪が話題に上ります。事実を無視して真実はありませんので、当然です。

「過去を振り返らなければなりません」

「将来への責任を採るために」——これが筆者の立場です——

「神はその独り子をお与えになるほど、世を愛された」ことを文字通り信じる、キリスト教に希望を失っていないどころか、ますます、それに期待しています。

「愛の宗教」「平和の福音」なくして、何の人生、何の人類か。

神の愛がなくなれば、神の子の生命は消えます。

神の言葉に生かされ、本来の姿を取り戻して、本来の力を発揮しなければなりません。

「すべて多く与えられた者は、多く求められる。」

「あなたがたは、その実で彼らを見分ける。すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。」

「神からの教えは神の業を行い、神の民は、恵みによって、地の塩となってすべてを生かし、世の光となってすべてを照らすことができる。」

*FAX または TEL でサンパウロまでお申込み下さい。代金振込用紙を同封の上お送りいたします。

ご注文書	カトリック教会と奴隷貿易—現代資本主義の興隆に関連して—		冊
	税込価格 1,890円		
	お名前		
	ご住所 〒		
TEL		FAX	



サンパウロ

Tel. 03-3359-0451

Fax. 03-3351-9534

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-21-9 <http://www.sanpaolo.or.jp/>

サンパウロ社からの既刊本『カトリック教会の戦争責任』（2000年7月）、『カトリック教会と沖縄戦』（2001年10月）